

平成30年10月11日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社
三井住友信託銀行株式会社

LGBTへの取組評価「PRIDE指標」において、三井住友信託銀行が最高評価「ゴールド」を受賞

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:大久保 哲夫)の子会社である三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本勝、以下「三井住友信託銀行」)は、本日、LGBTに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 wwP(work with Pride)による、LGBTなどの性的マイノリティに関する取り組みの評価「PRIDE 指標」において、2017年に引き続き、最高評価の「ゴールド」を受賞しましたのでお知らせします。

「PRIDE 指標」は、各企業・団体等の、Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するもので、2016年に策定された日本で初めてのLGBT施策評価指標です。

三井住友トラスト・グループでは、「個々人の多様性と創造性を経営に活かす」というダイバーシティ&インクルージョンの概念そのものを、ミッション(経営理念)として有しています。また、性的指向・性自認を理由とした差別や人権侵害を行わないことがグループの人権方針の一つにあり、組織のポリシーとして明示されています。

三井住友信託銀行では、2018年1月から、同性婚の社員に対して結婚休暇利用を可能とする福利厚生制度を改定したほか、お客さま向けのサービスとして、住宅ローンにおいて銀行が指定する公正証書などをご提出いただくことで、同性パートナーを配偶者とみなしてご利用いただけるお取り扱いを開始するなど、ダイバーシティ&インクルージョン推進の重点取り組みテーマとして、LGBT支援を継続しています。

三井住友トラスト・グループは、「個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場の提供」というグループの「働き方改革宣言」の実現を目指し、引き続き環境整備や意識改革に努めていきます。



以上